



株主のみなさまへ

第55期報告書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



証券コード 7955

第55期

報 告 書

日本初の電動アシスト機能で、
手を使わずに引き出しをオープンできる、
システムキッチン「S.S.サーボ」を新発売しました。

目次

株主のみなさまへ	2
業績の概要～今後の課題～	3～4
連結貸借対照表の要旨	5～6
連結損益計算書の要旨	7
連結キャッシュ・フロー計算書の要旨	7
連結株主資本等変動計算書の要旨	8
1株当たり指標(連結)	8
単体貸借対照表の要旨/単体損益計算書の要旨	9
単体株主資本等変動計算書の要旨	9
クリナップトピックス	10～12
会社の概要/株式の状況/役員	13
事業所とショールームのご案内	14

株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、第55期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当連結会計年度のわが国経済は、前半こそ緩やかな回復基調が続いたものの、後半は一転して米国サブプライムローン問題に端を発する金融不安に加え、原油高などによる原材料の高騰も続き、景気は先行き不透明感を強めながら推移する結果となりました。住宅設備機器市場におきましても、中・高級品クラスに伸びを欠いたままの需要動向から、後半は改正建築基準法の影響により新設住宅着工が大幅に落ち込み、リフォーム需要も低迷し、需要全般が振るわぬ結果となりました。

このような状況の中、当社は平成19年9月に主力のシステムキッチン「S.S.」および「クリンレディ」両シリーズのフルモデルチェンジや、新たな有料メンテナンスシステムとして20年サポートプログラム「スマイル20」を平成19年9月より開始するなど、商品とサービ

スの新たな提案を行い需要の掘り起こしと獲得に努めてまいりました。

しかしながら当連結会計年度の業績は、「S.S.」および「クリンレディ」はじめ、システムキッチンが数量、金額とも前連結会計年度を下回る等、前期比減収となり、加えて原材料の高騰も続いたことから、利益面では損失計上という大変厳しい結果となりました。

今後は、改正建築基準法のマイナス影響はピークを越えるものの、本格的な需要の回復までには時間を要するものと思われます。当社は、商品とサービスの高付加価値化をさらに推進し、全国ショールームを核としたお客さまへの提案活動に一層注力し、業績の回復と向上に努めてまいります。



株主のみなさまには、今後とも一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成20年6月
代表取締役社長
井上 強一

業績の概要～今後の課題～

連結財務ハイライト

	第55期(当期) 平成19年4月 1日から 平成20年3月31日まで	第54期 平成18年4月 1日から 平成19年3月31日まで	第53期 平成17年4月 1日から 平成18年3月31日まで	(単位:百万円)
売 上 高	112,811	122,781	122,474	
営業利益又は営業損失(▲)	▲1,301	4,139	4,381	
経常利益又は経常損失(▲)	▲1,382	3,962	4,160	
当期純利益又は当期純損失(▲)	▲3,078	1,865	1,614	
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在	平成18年3月31日現在	
総 資 産	79,897	86,950	88,736	
純 資 産	55,892	60,595	60,066	

当期の経営環境

当連結会計年度のわが国経済は、前半こそ緩やかな回復基調が続いたものの、後半は金融不安や原油価格高騰による原材料高などにより、景気は先行き不透明感を強めながら推移いたしました。

住宅設備機器業界においては、前半は普

及品クラスの伸長のみが顕著な過年度からの傾向が続き、後半は改正建築基準法の影響による新築需要の減少とリフォーム需要の低迷から、システムキッチン、システムバスルームおよび洗面化粧台とも前連結会計年度を下回る出荷動向となりました。

営業の概況

当社は、主力のシステムキッチン高級品クラスの「S.S.」と中・高級品クラスの「クリンレディ」を平成19年9月にフルモデルチェンジしました。両シリーズとも、カラーラインアップを一新し、「S.S.」

は料理とキッチンデザインにこだわりを持つ本格派のステンレスシステムキッチンとして、「クリンレディ」は家族を大切にする方々の親しみあるシステムキッチンとしてシリーズの明確化を

図りました。さらに平成20年2月、日本初の電動アシスト機能により引き出しがオープンする「S.S. サーボ」を新発売いたしました。システムバスルームは平成20年2月、中・高級品クラス「アクリア」の機種追加を行い、メータモジュール設計による住宅への対応も可能とし、中級品クラス洗面化粧台「S」も機種の拡充を行いました。

ショールームは、新商品の発売に伴い全国109カ所の改装を実施し、新宿ショールームでは、システムキッチン「S.S.」での料理体験やパー

ティーが可能な「体感ルーム」の設置を行い、キッチン・バス関連グッズの販売アイテム拡大を図りました。

営業活動では、平成18年11月発足の「水まわり工房」会員の工務店、リフォーム店はじめ、有力サブユーザーとの共催によるリフォームイベント開催に注力し、また、有力店対象約1,000名規模の工場見学会実施により、相互連携の強化を図りました。

業績の概況

この結果、当連結会計年度の売上高は、システムキッチン「S.S.」の大幅減収、同「クリンレディ」の減収が大きく、前期比8.1%減の1,128億11百万円となりました。利益面では、原材

料高の影響は、当社の製品値上げおよび原価低減である程度吸収できたものの、プロダクトミックスの悪化が響き、営業損失13億1百万円、当期純損失は30億78百万円となりました。

配当政策

安定的な配当を長期的に継続していくことを基本方針とし、期末配当金は10円（中間配

当金10円を加えた当期の配当金は1株につき20円）とさせていただきます。

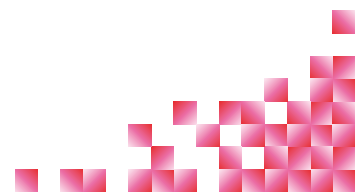
今後の課題・戦略

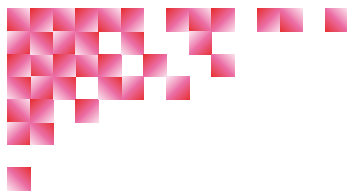
今後のわが国経済は、継続的な原油高や米国経済の減速懸念および円高基調の為替動向など、不透明要因を抱えながら景気は先行きの見えにくいまま推移すると思われます。

住宅設備機器市場も、改正建築基準法のマイナス影響はピークを越えるものの、新築需要、リフォーム需要とも急速な回復は難しいものと予想されます。

当社は、平成19年9月にフルモデルチェンジ

したシステムキッチン「S.S.」「クリンレディ」およびシステムバスルーム「アクリア」の販売に注力し、さらに平成20年3月に新発売した普及品クラスのシステムキッチン「ラクエラ」と、同5月発売のシステムキッチン「S.S.ライトパッケージ」の市場浸透に努め、新規チャネルの開拓と既存チャネルとの連携強化により、シェアの向上と売上の拡大を図ってまいります。



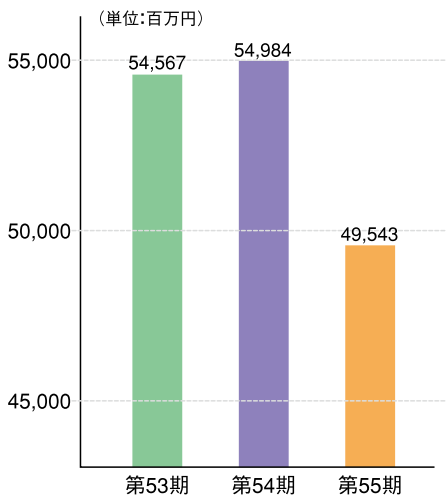


BS

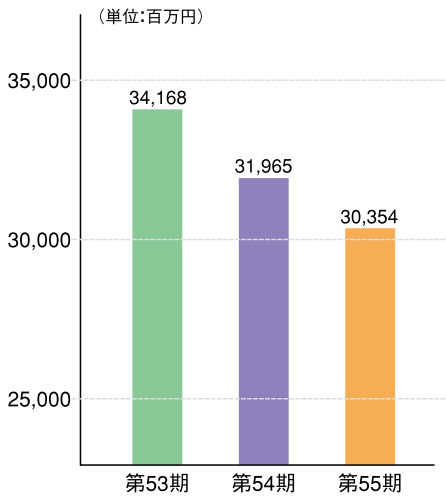
連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

■流動資産



■固定資産

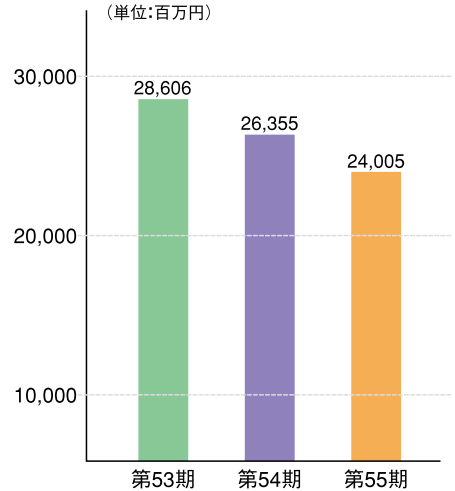


	当期 平成20年3月31日現在	前期 平成19年3月31日現在
■資産の部		
流動資産	49,543	54,984
現金及び預金	13,794	15,827
受取手形及び売掛金	25,936	30,537
その他	9,865	8,688
貸倒引当金	▲52	▲68
固定資産	30,354	31,965
有形固定資産	21,881	22,273
建物及び構築物	9,836	10,242
土地	6,635	6,748
その他	5,408	5,282
無形固定資産	2,705	3,024
投資その他の資産	5,767	6,667
投資有価証券	2,297	2,952
その他	3,787	4,108
貸倒引当金	▲317	▲326
投資損失引当金	—	▲67
資産合計	79,897	86,950

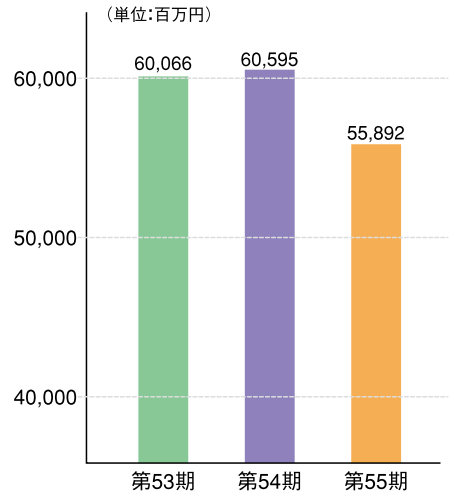
(単位:百万円)

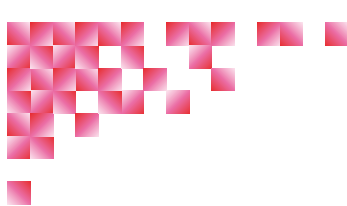
	当期 平成20年3月31日現在	前期 平成19年3月31日現在
■負債の部		
流動負債	17,865	22,136
買掛金	6,557	6,925
その他	11,308	15,210
固定負債	6,139	4,218
長期借入金	2,992	909
退職給付引当金	818	730
役員退職慰労引当金	424	424
その他	1,904	2,154
負債合計	24,005	26,355
■純資産の部		
株主資本	55,572	59,628
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	30,017	34,073
自己株式	▲63	▲63
評価・換算差額等	319	966
その他有価証券評価差額金	319	966
純資産合計	55,892	60,595
負債純資産合計	79,897	86,950

■負債合計



■純資産合計





PL

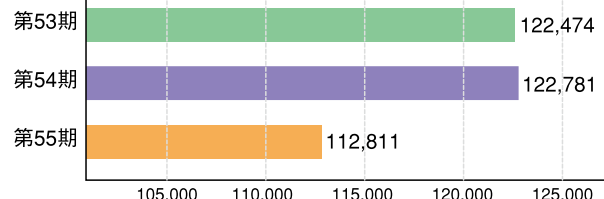
連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

	当期 平成19年4月 1日から 平成20年3月31日まで	前期 平成18年4月 1日から 平成19年3月31日まで
売上高	112,811	122,781
売上原価	76,341	80,722
売上総利益	36,469	42,059
販売費及び一般管理費	37,771	37,920
営業利益又は営業損失(▲)	▲1,301	4,139
営業外収益	717	657
営業外費用	798	834
経常利益又は経常損失(▲)	▲1,382	3,962
特別利益	26	115
特別損失	603	690
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(▲)	▲1,959	3,386
法人税、住民税及び事業税	326	1,279
法人税等調整額	792	243
少数株主損失	—	2
当期純利益又は当期純損失(▲)	▲3,078	1,865

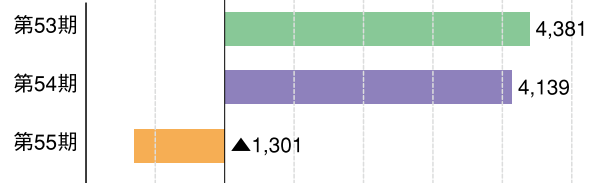
■売上高

(単位:百万円)



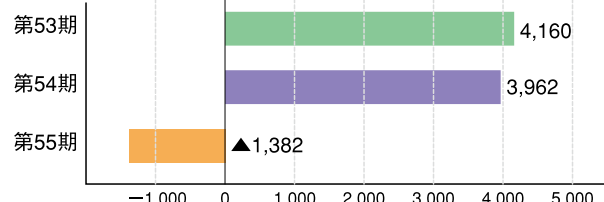
■営業利益又は営業損失(▲)

(単位:百万円)



■経常利益又は経常損失(▲)

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

	当期 平成19年4月 1日から 平成20年3月31日まで	前期 平成18年4月 1日から 平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,945	5,827
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,405	▲2,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲874	▲3,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額	▲334	462
現金及び現金同等物の期首残高	16,634	16,171
現金及び現金同等物の期末残高	16,300	16,634

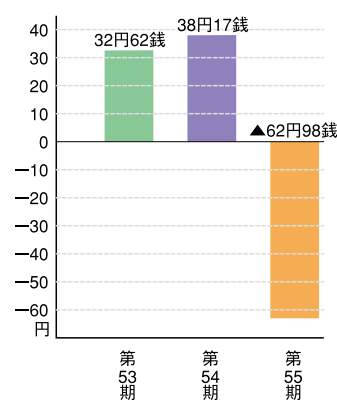
連結株主資本等変動計算書の要旨

(単位:百万円)

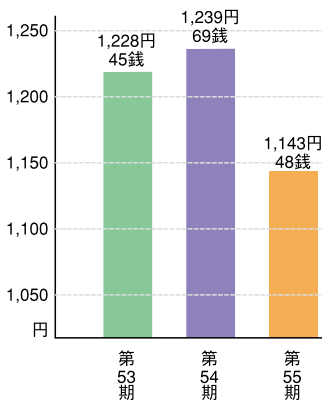
当期 平成19年4月 1 日から平成20年3月31日まで								
科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前期末残高	13,267	12,351	34,073	▲63	59,628	966	966	60,595
当期変動額								
剰余金の配当			▲977		▲977			▲977
当期純利益 (▲損失)			▲3,078		▲3,078			▲3,078
自己株式の取得				▲0	▲0			▲0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						▲646	▲646	▲646
当期変動額合計	—	—	▲4,055	▲0	▲4,056	▲646	▲646	▲4,703
当期末残高	13,267	12,351	30,017	▲63	55,572	319	319	55,892

1株当たり指標 (連結)

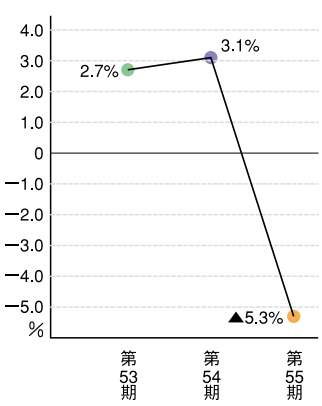
■1株当たり純利益又は1株当たり純損失 (▲)
(EPS)

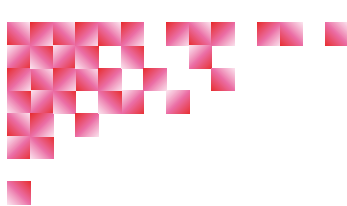


■1株当たり純資産額
(BPS)



■自己資本利益率
(ROE)





BS・PL

単体貸借対照表の要旨

単体損益計算書の要旨

(単位:百万円)		
	当期 平成20年3月31日現在	前期 平成19年3月31日現在
■資産の部		
流動資産	47,392	52,372
固定資産	30,239	31,799
有形固定資産	19,219	19,514
無形固定資産	2,678	2,985
投資その他の資産	8,340	9,298
資産合計	77,631	84,171
■負債の部		
流動負債	17,361	21,076
固定負債	5,548	3,705
負債合計	22,909	24,781
■純資産の部		
株主資本	54,402	58,422
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	28,846	32,867
自己株式	▲63	▲63
評価・換算差額等	319	966
その他有価証券評価差額金	319	966
純資産合計	54,721	59,389
負債純資産合計	77,631	84,171

(単位:百万円)		
	当期 平成19年4月 1日から 平成20年3月31日まで	前期 平成18年4月 1日から 平成19年3月31日まで
売上高	109,358	119,582
売上原価	73,906	78,704
売上総利益	35,452	40,878
販売費及び一般管理費	37,284	37,667
営業利益又は営業損失 (▲)	▲1,831	3,211
営業外収益	1,394	1,134
営業外費用	1,047	1,091
経常利益又は経常損失 (▲)	▲1,484	3,255
特別利益	16	0
特別損失	646	674
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (▲)	▲2,114	2,580
法人税、住民税及び事業税	104	894
法人税等調整額	823	247
当期純利益又は当期純損失 (▲)	▲3,042	1,438

単体株主資本等変動計算書の要旨

当期 平成19年4月 1日から平成20年3月31日まで								
科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前期末残高	13,267	12,351	32,867	▲63	58,422	966	966	59,389
当期変動額								
剰余金の配当			▲977		▲977			▲977
当期純利益 (▲損失)			▲3,042		▲3,042			▲3,042
自己株式の取得				▲0	▲0			▲0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						▲646	▲646	▲646
当期変動額合計	—	—	▲4,020	▲0	▲4,020	▲646	▲646	▲4,667
当期末残高	13,267	12,351	28,846	▲63	54,402	319	319	54,721

CLEANUP TOPICS クリナップ トピックス

日本初登場「S.S.サーボ」
ワンアクションで引き出しが自動オープン。



S.S. サーボ

日本初の電動アシスト機能「S.S.サーボ」を搭載したシステムキッチン「S.S.」を平成20年2月1日より発売いたしました。

両手がふさがっていたり、手が濡れていたり、そんなときは膝や腰のワンアクションで取っ手や前板を軽

くプッシュすれば、出し入れしやすい位置まで引き出しがオープンします。

引き出しを閉めるときも、サイレントレールでスムーズ。ラクな動作で行えます。

CLEANUP TOPICS クリナップ トピックス

「S.S.」のエッセンスを凝縮し、
お求めやすい価格で「S.S.ライトパッケージ」を新発売。



S.S. ライトパッケージ

平成20年5月7日、「S.S.ライトパッケージ」を新発売いたしました。18-8ステンレスを使用し、S.S.サーボ機能を備え、「S.S.」の特長を生かしながらも、お求

めやすい価格となっています。ワークトップI型間口2,550と2,700の2サイズ限定機種です。

キッチン楽しく・ラクラク選びたい。
システムキッチン「ラクエラ」新発売。



ラクエラ

平成20年3月31日、普及品クラスのシステムキッチンとして、新ブランド「ラクエラ」を発売いたしました。

システムキッチン「ラクエラ」は、いままでのこのクラスにはないスマートなデザインで、扉カラーは、全23色。ライン取っ手とバー^{うづくり}取っ手の選択が可能です。上質な浮造調の木目扉も今回新登場のデザインです。

物流子会社の合併により、
ロジスティクス事業の効率化をさらに推進します。

当社の100%子会社であるクリナップロジスティクス株式会社と、クリナップ運輸株式会社は、平成20年4月1日付けで合併しました。（クリナップロジスティクス株式会社による吸収合併）

この合併により当社のロジスティクス事業は、クリナップロジスティクス株式会社に一本化し、事業の効率化と強化を図ってまいります。

当社は、これまででも運輸子会社の再編を行ってきましたが、今回の合併がその集大成となります。

物流子会社再編の経緯

1969年 8月	クリナップ運輸(株)設立
2002年10月	ノンアセット型(物流拠点、車両などの自社資産を持たない業態)のクリナップロジスティクス(株)設立
11月	クリナップ運輸(株)が首都圏運輸倉庫サービス(有)を吸収合併
2006年 1月	クリナップ運輸(株)がクリナップ岡山運輸(株)を吸収合併
2008年 4月	クリナップロジスティクス(株)がクリナップ運輸(株)を吸収合併(今回)

障がい者の方々の能力活用を積極的に推進します。

当社は、平成20年2月8日に、子会社「クリナップハートフル株式会社」を設立いたしました。同社は、障害者雇用促進法に基づく特例子会社として厚生労働大臣認定を取得し、同3月14日、足立公共職業安定所長より特例子会社の認定通知の交付を

受けました。今後、足立公共職業安定所、荒川区をはじめとした関係機関と連携をとりながら、積極的に障がい者の方々の能力を活用し、事務受託事業を推進してまいります。

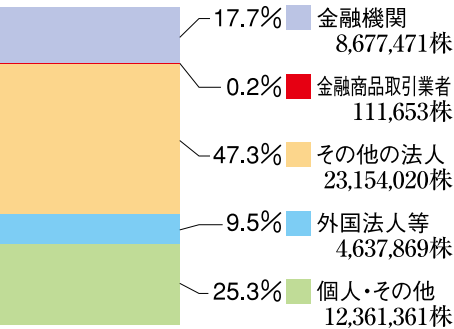
会社の概要 (平成20年3月31日現在)

商号	クリナップ株式会社 Cleanup Corporation
本店所在地	〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号 電話 03(3894)4771 (大代表)
創業	昭和24年10月5日
会社設立	昭和29年10月5日
上場	平成2年2月6日 東証2部上場 平成3年9月2日 東証1部指定
資本金	132億6,734万円
主要営業品目	厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他

株式の状況 (平成20年3月31日現在)

発行可能株式総数	130,000,000株
発行済株式総数	48,942,374株
株主数	5,527名 (前期末比833名増)

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数	出資比率
株式会社井上	13,074千株	26.7%
株式会社タカヤス	8,000千株	16.3%
クリナップ社員持株会	2,426千株	4.9%
クリナップ真栄会	1,393千株	2.8%
ダンスケバンククライアントソールディングス	1,374千株	2.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,266千株	2.5%
クリナップ共進会	1,109千株	2.2%
井上 登	1,049千株	2.1%
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,043千株	2.1%
三菱UFJ信託銀行株式会社	693千株	1.4%

注) 出資比率は自己株式(63,387株)を控除して計算しております。

役員 (平成20年6月25日現在)

代表取締役社長	井上 強一	取締役	加藤 亨一	取締役	松浦 昌孝	監査役	新谷 謙一
取締役	高嶋 信	取締役	小島 輝夫	取締役	佐藤 茂	監査役	有賀 文宣
取締役	川合 和夫	取締役	小松 裕恒	常勤監査役	山根 康正		
取締役	酒井 均	取締役	鈴木 章	監査役	猪狩 昌行		

注) 監査役 新谷謙一および有賀文宣の両氏は、社外監査役であります。

事業所とショールームのご案内 (平成20年3月31日現在)

本社 / 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号
支店 / 国内16カ所
営業所 / 国内132カ所
出張所 / 国内12カ所
海外 / 香港支店、北京事務所
工場 / 四倉、鹿島システム、鹿島、湯本、クレート (いずれも福島県いわき市)

ショールーム/全国109カ所

- 札幌支店 札幌、旭川、帯広、北見、釧路、函館
- 東北支店 青森、八戸、弘前、盛岡、水沢、石巻、仙台、秋田、横手、山形、庄内、福島、会津、いわき、郡山
- 東関東支店 水戸、つくば、千葉、市川、柏、木更津、成田
- 北関東支店 宇都宮、小山、太田、高崎
- 埼玉支店 大宮、川越、熊谷、越谷
- 東京支店 新宿、練馬、足立、多摩、甲府
- 横浜支店 横浜、横浜北、厚木、相模原、藤沢、横須賀
- 静岡支店 静岡、沼津、浜松、富士
- 信越支店 新潟、上越、長岡、長野、松本
- 北陸支店 富山、高岡、金沢、福井、敦賀
- 名古屋支店 岐阜、名古屋、小牧、豊田、岡崎、豊橋、津、四日市
- 京都支店 滋賀、彦根、京都、福知山
- 大阪支店 大阪、北大阪、南大阪、神戸、姫路、奈良、奈良北、和歌山
- 中国支店 鳥取、米子、松江、岡山、倉敷、津山、広島、福山、山口、下関、徳山
- 四国支店 徳島、高松、松山、宇和島、高知
- 九州支店 福岡、北九州、久留米、佐賀、長崎、佐世保、熊本、大分、宮崎、都城、鹿児島、沖縄

お近くのショールームをホームページでご確認ください。
<http://cleanup.jp/>

※株主・投資家のみなさまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。
また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。

「環境報告書」をホームページで公開中

http://cleanup.jp/life_cycle/index.shtml



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

(郵便物送付先、電話照会先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

野村證券株式会社 全国本支店

単元株式数 100株

公告方法 日本経済新聞に掲載して行います。

【お知らせ】

○株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)書類のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

☎ 0120-244-479 (本店証券代行部) } 通話料無料
☎ 0120-684-479 (大阪証券代行部)

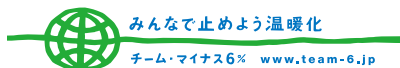
URL <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主さまは、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

住まいの夢を創る

チームマイナス6%株式会社

<http://cleanup.jp/>



地球環境保護のために、
この冊子には再生紙と
大豆油インキを使用しています。